

学校番号・学校名	〈中・26〉いわき市立 泉中学校		
<実施日>	平成 28年 7月 5日 (火)		
<実践教科等>	1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ( )		
<実践内容>	<p>授業は、中学1年生の学級活動において、  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">身近な分野で活躍している放射線について考えよう</span> の授業を行った。</p> <p>1 身近な分野で活躍している放射線について知っていることをワークシートに記入する。  (まずは誰とも相談せずに自分の知識として)、その後、班内でお互いの意見を発表しあい、最後に全体の場面で各班からの発表。下記は生徒の発表内容</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 放射線治療、レントゲン、原子力発電所、原子爆弾 </div> <p>2 工業分野・医療分野・農業分野・その他の分野において、放射線が私たちの暮らしの様々な場面で利用されていることを「活躍する放射線！」のDVDを見て確認した。  (1) 各分野ごとのクイズに答える。  (2) 映像を見ながら、ワークシートに内容を記入する。</p> <p>3 本時の授業を振り返る。  (1) 本時の授業を振り返り、感想や気付いたことを記入する。</p>		
<成果>	<p>○生徒たちの放射線への認識が良い方向に変わった。</p> <p>感想：東日本大震災で苦しめられたという思いがあったが、授業を通して、放射線が必要なものだとわかった。</p> <p>○ICT（映像）を用いることにより、生徒が興味・関心をもって取り組み、普段は見られない放射線の利用を知ることができた。</p> <p>○どの生徒も、放射線が自分たちの生活において、身近なものであると感じていた。</p>		
<課題>	<p>●導入の段階で、生活の中で活用されている放射線を問いたところ、予想していたよりも少なく、自然放射線に関する知識が不足しているように思われる。</p> <p>●指導する側として、全教師が放射線についての知識を高めていく必要がある。</p> <p>●身近な放射線の中で、原子爆弾という言葉が出てくることは予想されていたが、広島・長崎に投下された原爆についての取り扱いについて、難しいと感じた。</p> <p>●避難してきている生徒の中には、放射線に対し強い否定感情を持っている生徒もいるかもしれないので、配慮が必要である。</p>		
資料作成担当者職 ( 教諭 ) 氏名	( 大井川 英敏 )	学校電話番号	( 56 - 6043 )

